

# 加茂の水

## 暮らしと産業の原点 加茂川

粟ヶ岳を水源とする全長18kmの加茂川。まちの中心部を流れる加茂川は、その昔、河船の往来が盛んで山から切り出す材木の集散地として栄え「木工のまち加茂」の由縁と言われています。

その一方、過去には何度も氾濫し、特に昭和44年の水害では大きな被害をもたらしました。その後、川幅を2倍に広げる河川改修が行われ、今では、整備された河川敷が市民の憩いの場として親しまれています。



## 水辺で憩う

### 加茂山公園内・池の端

平日の日中は、神池の噴水の水音、杉木立に響く鳥のさえずり、そして自分の踏み敷砂利の音が響く静かな場所。夜には蛍が舞い、幻想的な光景が見られます。



### 下条川ダム

昭和49年に下条川流域の洪水防御を目的に建設されました。高さ31m、総貯水容量は153万m<sup>3</sup>。全国的に有名なヘラブナ釣りのメッカ。今年の大会は7月24日(日)。



### 越後加茂川夏祭り (8月14日(日))

夏祭りといえば2キロメートル大ナイアガラ。光のシャワーを見るために県外からも観光客が訪れます。祭りの後の静かな加茂川の流れに、近く夏終わりの静けさを感じます。

